

報道関係各位

2016年3月23日
株式会社ストライプインターナショナル

備前市との包括協定に調印 ～岡山の地域活性化に向けて～

株式会社ストライプインターナショナル(本社:岡山県岡山市、代表取締役社長:石川康晴)は、地域の活性化を推進し、地方創生のための包括的な相互支援の促進を図るため、本日備前市と包括協定を締結し、当社本社にて調印式を実施いたしました。

包括協定は、地域の活性化に関する事項、文化・観光振興に関する事項、移住・定住の推進に関する事項、少子化対策に関する事項、積極的な情報発信に関する事項、その他、両者が必要と認める事項の6項目で構成され、連携、協力する具体的な事項は、両者で協議し決定してまいります。当社は昨年10月8日に、瀬戸内市および玉野市とも地方創生のための包括協定を締結しており、今回の備前市との協定も先の2自治体と同様の内容です。

当社は、これまでも創業地である岡山での地域貢献に努めてきましたが、今後も引き続き岡山の活性化に協力していきたいと考えております。県内各自治体との包括協定にとどまらず、2月に新設いたしました本社企画部の活動を通じて、岡山エリアでのイベント実施や地元企業との協業などを行い、更なる地域創生への取り組みを行ってまいります。



<調印式でのコメント>

備前市 市長 吉村 武司 (※「吉」の字の「土」は「土」です)

ストライプインターナショナルとの協定締結により、文化・観光・芸術分野をはじめとした地域活性化および人材育成、また地方創生をキーワードにした新たな価値を創造する仕組みづくりを進めていきたい。閑谷学校にある二本の榎の木のように、双方の異なる特色を生かして、地域の皆さんへの貢献、地域社会の発展を図っていくつもりです。まずは、ストライプインターナショナル主催の清掃活動「エコクリーナーズ」を4月に備前市でも実施することから、取り組みをスタートいたします。

株式会社ストライプインターナショナル 代表取締役社長 石川 康晴

備前市の保有するコンテンツ(閑谷学校、備前焼、カキなど)に、当社が持つ「デザイン」というノウハウを掛け合わせて付加価値を高めることで、全国区へ認知を広げるためのマーケティングサポートなどをしていきたい。備前市の新たな価値を創出していくお手伝いをし、地域の皆さんの便益を高めていけたらと考えています。